

1. 基本情報

評価対象年度 (令和4 年度)

| | | | |
|------------|-------|-------------------------------|------------|
| 施策コード | 132 | 施策名 | 男女平等社会の推進 |
| 将来像 | 1 | 安全でうるおいのある暮らしができるまち(「暮らし」の分野) | |
| まちづくりの基本目標 | 13 | お互いを尊重し合うまち | |
| 主担当部 | 地域振興部 | 主担当課 | 男女共同参画センター |

2. 施策の方向

| | | | |
|--------|--|---|--|
| 10年後の姿 | 誰もが性別で固定された役割に左右されることなく、自分の意思と責任によって生き方を選択することができ、個性と能力を十分に発揮しながら、あらゆる分野で対等に参画する男女共同参画社会が進んでいます。 | | |
| 施策の方向性 | 1 | さまざまな視点で男女平等を考え、一人一人の生き方を尊重する人とまちをめざします | |
| | 2 | 女性がいいききと暮らせるよう、DVや就労などの相談支援を充実します | |
| | 3 | 女性のリーダーシップが一層発揮されるまちをめざします | |

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

| 事務事業名 | 施策の方向性 | 担当課 | 令和4年度決算額 |
|------------------|--------|------------|----------|
| 男女共同参画センター運営管理事業 | 1、2、3 | 男女共同参画センター | 17,045 |
| 女性広報発行事業 | 1 | 男女共同参画センター | 1,632 |
| アイレックまつり事業 | 1 | 男女共同参画センター | 189 |
| 起業支援事業 | 3 | 男女共同参画センター | 8,500 |
| 総事業費(施策の合計) | | | 27,366 |

4. まちづくり指標

| 指標情報 | | | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | | |
|------|------|---|------|-------|--------|---------|---------|-------|------|--|
| ① | 名称 | 市の管理職の女性割合 | | 目標値 | 18.0 | 21.0 | 11.8 | 27.0 | 30.0 | |
| | 説明 | 女性職員の能力とリーダーシップを測る | 単位 % | 実績値 | 7.5 | 9.8 | | | | |
| | 抽出方法 | 所管課統計 | | 達成率 | 41.7% | 46.7% | | | | |
| ② | 名称 | 日常生活で男女の不平等は感じないと思う人の割合 | | 目標値 | 60.0 | 60.0 | 62.0 | 62.0 | 62.0 | |
| | 説明 | — | | 単位 % | 実績値 | 61.1(※) | 61.1(※) | | | |
| | 抽出方法 | 市政世論調査(令和2、5、8年度実施) | | 達成率 | 101.8% | 101.8% | | | | |
| ③ | 名称 | 家事や子育て、介護等の家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思う人の割合 | | 目標値 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | |
| | 説明 | — | | 単位 % | 実績値 | 88.9(※) | 88.9(※) | | | |
| | 抽出方法 | 市政世論調査(令和2、5、8年度実施) | | 達成率 | 98.8% | 98.8% | | | | |

※②③抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和4年度実績に対する)

| 評価基準 | | 評価※ | 評価理由 |
|---|-----------------------|-----|--|
| 投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価 | 総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価) | 維持 | <p>●男女平等推進プランの進捗については、PDCAプロセスの改善に向けた外部評価に対する各所管のコメントを必須とした。このことにより、プランの意識につながり、ジェンダー平等施策推進の効果が期待できる。</p> <p>●市の施策としてのパートナーシップ宣誓制度は、11月に運用開始となった東京都制度と市検討案を比較し、制度内容が当事者にとって有益と判断されることから、市制度の検討は休止した。なお、当事者が参画した企画運営による講座等開催の他、多摩地域の9自治体が連携した若年層の当事者の居場所づくりに参加する等、LGBT理解促進に向けた事業には取り組むことができた。</p> <p>●女性の起業をはじめとした多様な働き方と、コロナ禍における市民の新しい働き方を応援するために開設した「きよせワークスペースことりば」は、令和4年度には延べ3,057人が利用する施設となった。また、特徴的なことは利用者の1/3が女性であり、当初の目的である女性活躍推進に寄与している。スペースの運営を民間に委託することで、快適な環境の実現など官民連携の成果と考える。単なるテレワークスペースではなく、インキュベーションマネージャーと利用者との協同によるイベントの開催など、新たな働き方の応援を展開している。</p> |

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
 維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
 停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

| | |
|-------------|--|
| 令和4年度からの変更点 | コロナ禍において、会議、講座等のオンライン実施の有効性が期待できた。しかしながらこれまでの対面方法を再開すべきであるとの意見もある。そのため、開催時点の状況や講座等の内容を適宜判断し実施していく。 |
|-------------|--|

7. 施策を進める上での課題

| | |
|---|--|
| ① | <p>施策を進める上での課題 女性が働きやすいまちづくりを、さらに進める必要がある。</p> <p>課題に対する令和6年度以降の取組 コワーキングスペースの設置は、女性の働き方の一助となっているが、今後、アイレック相談におけるしごと相談の他、事業者に対する啓発の方法を検討していく。</p> |
| ② | <p>施策を進める上での課題 女性への暴力(セクハラ・性暴力・DV)への対応が必要となる。</p> <p>課題に対する令和6年度以降の取組 長年、実施日等が固定化されていたアイレック相談を見直す時期であると考え、相談する側の立場に立った運用を実施する。特にDVは本人が被害者であると気づいていないこともあり、現状を踏まえ、見直しを図る。</p> |
| ③ | <p>施策を進める上での課題 第3次男女平等推進プランのPDCAサイクルの更なる推進が必要となる。</p> <p>課題に対する令和6年度以降の取組 10年間の長期計画である男女平等推進プランは中間の見直しの時期に当たる。PDCAサイクルに基づき、現状を把握するとともに次期プラン策定の準備にかかる。</p> |